

【主な意見】

◎課題解決に向けた具体的施策、取組について

(委員)

- ・課題の整理等からこういう風にまとめられたという作業をされていると思いますが、整理しきれていない部分も多いかなと思っています。

例えば⑦スポーツ人口の裾野拡大（支えるスポーツの推進-競技力向上に向けた連携・支援）なんですけど、これはするスポーツの支援に当たり、ささえるになっていきますと、どちらかと言うと指導者の例えばやりやすい環境とかスポーツの指導者ということにもなります。

指導者やボランティアの方の人口拡大というほうが良いと思います。あと全国大会等出場支援というものも選手にとってはするスポーツの推進のほうになると思います。それが例えばコーチの人への支援であれば、ささえる側への支援になると思いますので、どちらかの支援でも良いので、せっかくする・みる・ささえるとしていますので、しっかりとする人への支援はこういう形で、ささえる側への支援はこういう形でということが明記されることがとても大切だと思っていますので、もう少し整理したほうがいいのかという意見です。

(委員)

- ・この審議会は2029年まで5年間のプランを話し合っていくということですよ。かなり盛りだくさんのことがこれまで話し合われていますが、これは次の5年間で、これはこれで特化しましょうとか、そんな形で進んでいくのでしょうか。あるいはそれは全然話し合われていないのでしょうか。

(事務局)

- ・新しいこの計画は1年後ではなく5年後の佐賀市のスポーツ推進の在り方をつくっているところです。方向性を決め、それに向かって今からどのような事業を進めていくかということで、最後の具体的取組が実際の事業でこれの目標を定めてそこに向かっていくための取組になります。ですから、5年間のスポーツ推進計画で進めています。

(委員)

- ・アーバンスポーツの推進で今回もパリ五輪でまた金メダルを取られました。現在佐賀市で、例えば、スケートスポーツをやっている団体とかクラブとかがあるのかどうかと以前、佐賀市スポーツ協会に入りたいという申込みがありましたけれども、現状どうなのか、そこだけちょっと質問です。

(委員)

- ・佐賀市には、佐賀市スケートボード連盟がございます。現在も、佐賀市スポーツ協会には、加入されておられません。

(事務局)

- ・現在、佐賀市と佐賀市スケートボード連盟とは定期的に話をしている状況です。スケートボードは悪いイメージ（やんちゃな子達で公園とかでもゴミを置いたり、ベンチを壊したり）がすごくありました。それで、どのような活動をしているのか私達も知らなかったもので、いろいろ聞きながら話を

進めていて、今、あちこちの公民館のほうで体験を開かれています。

あと、スケートボードが東京オリンピックですごくクローズアップされてメダルを取ったということで、スケートボードをしたいという子が増えています。

体験会を開くと100人ぐらい来るなどすごいのですが、どこかで滑ろうとするとそういう悪いイメージがあるということで滑れる場所がないと言われていました。

それで滑る場所を探したいと思い連盟と動いていまして、昨年大和中央公園の広場で体験会を開催しました。

そこには川上校区の子ども達がたくさん来て、きちんと取組をすれば地域の人たちは最初、反対されましたが、理解していただきました。

佐賀市はスケートボードする場所がありません。スケートパークが近隣にはあるのですが、まずは体育施設の空いているスペースとかも考えながら動いているところです。

スポーツ協会のほうにも、活動をお知らせして、皆さんに知ってもらおうということと市民スポーツ大会のオープン競技かデモンストレーション競技とか出来ませんかと話をしているところです。国スポのデモンストレーション競技でもありましたので、そんな形で少しずつ皆様に知ってもらって応援してもらい、機運を高めていきたいと思いますということで連盟とは話をしているところです。

(委員)

- ・アーバンスポーツを出すのはどうなのかと思います。

特定の競技とかを改めて具体的に取り組むなど、個別に出す必要はないと思います。

例えば、多様なスポーツを推進する環境整備ということで書いておいた上で、候補として、アーバンスポーツもありますよと言う書き方かなと思います。

なぜアーバンスポーツだけがという意見になってしまっていますので、ここでは多様なスポーツの環境整備と置いた上で、積極的に佐賀市がこれから進めていこうとするまちづくりに貢献できるようなスポーツを支援しようになるかと思います。

(委員)

- ・アーバンスポーツのイメージとして私の中ではニュースポーツと同じような並列の言葉かなと思っています。

BMXとか、レクリエーションの中のニュースポーツの中のアーバンスポーツという、いろいろな事項を見て、かなり抽象的だなあという印象が、何をしたいのかっていうのはむしろ無いような気がします。

プロを応援するっていうのは何かこう3つ(バレー、バスケ、サッカー)で何かイメージできるのですが、何かしますみたいな感じにも聞こえるような気がして、前は、国スポと全障スポに向かって環境整備をします、盛り上げますっていうような具体的な目標があったのですが、今回、何かイメージできなくて、市民スポーツの環境整えますってそりゃそうでしょうと、それが具体的に無い。そこはもうちょっと具体的に示したほうが良いのではないですかね、例えば大会誘致しますって書いてありますけども何かあるのですか、何かをしているのですか、言にくいかもしれないのですが、市として力を入れるものを、具体的に示し、その方向に向かって、指針とともに、活性化していくというような、そういうも

のがあったほうがいいので、むしろ私の意見としてアーバンスポーツというのは、具体的施策じゃなくて具体的取組の中の一つなので、これはむしろ無いともっと曖昧な気がするので、残して良いのではないかなって思います。

今回、佐賀市はアーバンスポーツに力を入れてみようというその何か新しい取組としては、何か目標があっていいと思います。

(委員)

- ・具体的にスポーツを挙げて、事業するのであれば、どれぐらい予算があるのか、その辺りで持っていないと何か絵を描いただけで、終わってしまうのではないかと感じます。

(委員)

- ・いろいろ、お聞きしながら、想像しながら、今まで話し合われたことを整理すると、そもそもこのするスポーツについて、何を目指しているのかというのを1つ皆さんが共通認識として話し合ったらどうかなあとと思います。

私が思いつく限り、何のためにスポーツをするのかっていうのを考えたときに、健康意識があったりとか、あるいは、スポーツ競技で競技ということもありますので、小さい子どもさんたちと将来の有望な人たちを生み出すようなところも措置としてつくっておかないといけないのかなとか、あるいは、高齢者の方のいわゆる健康年齢の維持を目指そうとか、まずもって何を私たちはこのスポーツをするということについて、成果として、求めているというのを考えていけば自ずとこの具体的な施策っていうのが少し整理されていくのかなあと思いました。

(会長)

- ・今後これで終わるということはございませんので、中間でまた審議があったりすると思いますので、そのときにでも、どういうふうになってるかとか、やっていこうということでもいいでしょうか。

(事務局)

- ・今会長がおっしゃったとおりですね、計画の進捗を策定後、定期的に皆さんにご意見を聞いていくことになるんですけども、審議会を毎年やっている中で、今回についてはこの第3次計画を策定すると言うことで昨年からお集まり頂きご意見を頂戴しました。今回で一応、具体的取組までを、次回は冊子ベースでの形で提示させていただきたいと考えています。具体的取組の右側の事業化の部分でのお話が非常に出てきているんですけども、計画そのものには大きな枠組みでこういう方向性でやりますというような記載になろうかと思えます。